#### 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	社会学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学期	後期	教室名	903教室
担当教員	河野 孝範		•		

# 実務経験と その関連資格

理学療法士として急性期病院にて急性期リハに従事。その後診療所にて地域リハビリテーションとして訪問リハ ビリと外来リハビリ、通所リハビリを経験する。2000年に介護支援専門員資格を取得し、介護支援専門員として居宅介護支援業務も兼任する。現在、地域包括ケア推進リーダーと介護予防推進リーダーを取得し、地域貢献活 動として地域の介護予防・認知症予防活動に従事している。

#### 《授業科目における学習内容》

- ・見学実習対策として、コミュニケーション能力獲得を目標に面接OSCEを合格する。 ・見学実習に必要な人間性・社会性を獲得できるように、コミュニケーション実習を実施する。
- ・活躍する卒業生の講話を聴講し、自身の将来の参考にする。

# 《成績評価の方法と基準》

面接OSCE成績 50%

課題レポート 2回+出席点 50%

# 《使用教材(教科書)及び参考図書》

面接OSCE資料

見学実習オリエンテーション資料

# 《授業外における学習方法》

普段の生活から、対人対応力・コミュニケーション能力を意識して振舞う。 理学療法士としてあるべき人間性・社会性を、様々な社会活動の中で意識して振る舞うこと。

### 《履修に当たっての留意点》

理学療法士は社会の中でどうあるべきかを、常に意識して行動すること。

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第	授業を通じての到達目標	実習生としての身だしなみを理解する。	面接OSCEオリエン	
1 回	各コマにおける授業予定	理学療法士学生として、実習での態度・社会性を学ぶ。	テーションパワー ポイント	
第	授業を通じての到達目標	面接OSCEの目的を理解する。	面接OSCEオリエン	
2 回	各コマにおける授業予定	面接OSCEの実際を理解して、学生同士で練習する。	テーションパワー ポイント	
第	授業を通じての到達目標	面接OSCEの目的を理解する。	面接OSCEオリエン テーションパワー ポイント	
3	各コマにおける授業予定	面接OSCEの実際を理解して、学生同士で練習する。		
第	授業を通じての到達目標	面接OSCEの目的を理解する。	面接OSCEオリエン テーションパワー ポイント	
4 回	各コマにおける授業予定	面接OSCEの実際を理解して、学生同士で練習する。		
第	授業を通じての到達目標	見学実習対策としてコミュニケーション実習を体験する。		
5 回	各コマにおける授業予定	グループで地域の集いの場に訪問し、高齢者とコミュニケーション をとる。		

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第	授業を通じての到達目標	見学実習対策としてコミュニケーション実習を体験する。		
6 回	各コマにおける授業予定	グループで地域の集いの場に訪問し、高齢者とコミュニケーションをとる。		
第	授業を通じての到達目標	見学実習で必要な実務書類について理解する。		
7 回	各コマにおける授業予定	見学実習で必要な書類作成のために各自パソコンを持参する。		
第	授業を通じての到達目標	見学実習で必要な実務書類について理解する。		
8 🗓	各コマにおける授業予定	見学実習で必要な書類作成のために各自パソコンを持参する。		
第	授業を通じての到達目標	見学実習で必要な実務書類について理解する。		
9	各コマにおける授業予定	見学実習で必要な書類作成のために各自パソコンを持参する。		
第 1	授業を通じての到達目標	見学実習で必要な実務書類について理解する。		
- 〇 回	各コマにおける授業予定	見学実習で必要な書類作成のために各自パソコンを持参する。		
第 1	授業を通じての到達目標	見学実習で必要な実務書類について理解する。		
」 1 回	各コマにおける授業予定	見学実習で必要な書類作成のために各自パソコンを持参する。		
第	授業を通じての到達目標	様々な分野の成功者を紹介し、その生き方を学ぶ。		
1 2 回	各コマにおける授業予定	成功者の生き方から、今後の自分の生き方を考える。 課題レポートにして提出する。	成功者の事例紹介  パワーポイント 	
第 1	授業を通じての到達目標	様々な分野の成功者を紹介し、その生き方を学ぶ。	成功者の事例紹介 パワーポイント	
3 回	各コマにおける授業予定	成功者の生き方から、今後の自分の生き方を考える。 課題レポートにして提出する。		
第 1	授業を通じての到達目標	活躍する卒業生の講話を聴いて、将来を具体的に考える。	卒業生のパワーポ	
4 回	各コマにおける授業予定	活躍する卒業生より、学生に対して将来の参考になる話をしても らう。	イント	
第 1	授業を通じての到達目標	活躍する卒業生の講話を聴いて、将来を具体的に考える。	卒業生のパワーポ	
- 5 回	各コマにおける授業予定	活躍する卒業生より、学生に対して将来の参考になる話をしてもらう。	イント	